



荒川河川敷と新河岸陸上競技場

【2面から続く】
針を定めていく。

区制施行90周年記念事業について

【質 問】花火大会や区民まつりなどをはじめとする記念事業は、感染対策を十分に講じながら、区民とともにお祝いできるように実施を。

【区 長】感染予防を徹底しながら最大限の工夫を凝らし、子どもから大人まで多くの区民と90周年を祝い、記念事業の実施に取り組んでいく。

教育について

【質 問】SDGs達成の担い手を育む教育であるESD(持続可能な開発のための教育)について、区の実施は。

【教育長】緑のカーテンづくりや節電の取り組みなど各学校の実情に応じた環境教育を中心として、ESDの一層の充実を図っていく。

【質 問】新型コロナの影響により、休校や行事の中止が相次いでいる。どのように教育の機会を確保していくか。

【教育長】一人一台端末を活用したオンライン授業や学習支援ソフトの活用など、様々な工夫を重ねている。今後も効果的な取り組みなどを区立学校で共有し、児童・生徒の教育機会の確保に尽力していく。

【質 問】孤独感を深め、意欲をなくすなど、精神的ダメージを受けている子どもの心のケアについての取り組みは。

【教育長】必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなげ、実態に応じてオンライン面談などを行っている。

【質 問】子どもたちの学びを止めない観点から、教育現場におけるBCPの策定が重要と考えるが、見解は。

【教育長】各学校園へは、教員が複数人出勤できない状況が発生し、教育活動が継続できない場合を想定した校内体制の確立と対応方針の策定を指示している。

小児への新型コロナワクチン接種について

【質 問】メリットとデメリットを丁寧にわかりやすく情報発信すべき。

【区 長】接種を受ける方が医師としっかり話をし、選べるように、区医師会と調整している。新たな知見が国から示された際は、メリットとデメリットをわかりやすく情報発信し、理解を深めてもらう。

防災対策を問う

【質 問】避難所運営における新型コロナ感染症対策は。

【区 長】受付時に健康状態を確認し、発熱などの症状がある方には、専用スペースに誘導するなど、感染防止策の徹底を図っている。

【質 問】災害ボランティアセンター運営マニュアルが作成後、10年間改訂されていない。早急に見直しを。

【区 長】現在、災害ボランティアセンター設置の業務を担う社会福祉協議会と協議を重ね、運営マニュアルの改訂



共産党 竹内愛



戦争のない平和な世界の実現をめざして

【質 問】国内外の平和を願うすべての人々と連帯し、「侵略戦争反対」「ロシア軍の撤退」などの意見を表明すべき。

【区 長】ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会の平和と秩序を乱す行為であり断じて容認できないが、

【質 問】大規模地震と台風による複合災害や、富士山・浅間山噴火による火山灰の被害想定を防災ガイドブックに掲載すべき。

【区 長】今後検討する基本的な考え方の中で整理し、必要に応じて防災ガイドブックに掲載していく。

高校生の医療費無償化の実現を求めて

【質 問】都が4年度予算に区市町村のシステム改修経費を計上した。高校生の医療費無償化に向け、区として一歩踏み込んだ前向きな検討を。

【区 長】区に十分な説明を行い、理解を得たうえで実施するよう都に働きかけている。今後、具体的な協議を踏まえ、進めていく。
※以上のほか、財政状況について質問があった

現時点では、声明などを発出するまでの考えはない。

予算編成のあり方を問う

【質 問】特別区民税などの増収が3年12月末時点で判明していたにも関わらず、区民負担の軽減を含め、緊急財政対策の見直しをなぜ行わなかったのか。見解は。

【区 長】緊急財政対策により、当初予算フレーム時の119億円の財源不足額を20億円までに縮減したものであり、方針を見直す状況ではなかった。

【質 問】生活が厳しい課税世帯に対しても、10万円の給付を実施すべき。

【区 長】現時点では、区独自の給付を行う予定はないが、生活に困っている方からの相談においては、状況を伺い、適切なサービスを案内する。

【質 問】障がい者の特性に応じた合理的配慮を調整するための担当者の配置及び採用計画の策定を求める。見解は。

命を守るコロナ対策を求めて

【質 問】保健所の業務が逼迫しているにも関わらず、なぜ感染症対策を担う保健師を増員しないのか。見解は。

【区 長】一時的に他の職種で対応可能な業務は、職種の振替を行い、限られた保健師を感染症対策に割り当てることで増員し業務を行っている。

【区 長】無症状者に対する定期的な検査が感染拡大防止に有効かどうかの判断は国から示されていない。「みなし陽性」の解消が進むよう、引き続き必要な方が検査を受けられる体制の支援に努める。

差別をなくし、人権を守る皆としての役割の発揮を求めて

【質 問】パートナーシップ制度にとどまらず、子どもを含めた家族関係を証明する「ファミリーシップ制度」の導入を検討すべき。

【区 長】都が4年2月に素案を公表した「パートナーシップ宣誓制度」の検討状況を見据えつつ、制度のあり方を幅広く考えていく。

【質 問】区立福祉園を民営化し、事業者の負担が増えることで、運営の水準が維持できないことは明らかである。改めて、民営化方針の撤回を。

【区 長】区の補助を通して、水準の維持を図るとともに、区は指導・助言・支援の役割を担う。民営化による福祉園のサービスの充実とともに、障がい福祉全体のさらなる充実に取り組んでいく。

子どもの権利について

【質 問】子ども家庭総合支援センターの開設を機に、子どもの権利条例の制定と、子どもの権利救済や意見を聞く仕組みの構築を進めるべき。

【区 長】後期高齢者人口の増加などにより、将来の介護給付の増加が想定されるが、持続可能な制度運営のため、保険料基準額の引下げは困難。納付が困難な方へは、納付相談などの活用を図っていく。



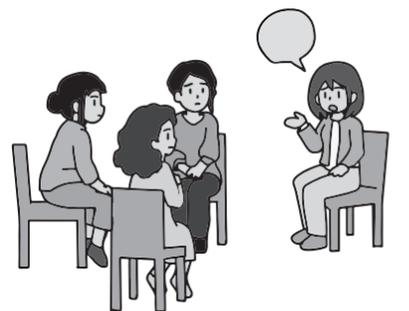
民主クラブ 高沢一基



ひきこもり対策を問う

【質 問】対話を通じた精神科医療の手法である「オープンダイアログ」をひきこもり対策に応用しては。

【区 長】ひきこもり対策に活用するためには、当事者の参加が課題だが、対話を意識して相談支援に努めていく。



不登校の子どもへ学習支援を

【質 問】フレンドセンターの非常勤職員にもタブレット端末を配備し、不登校の子どもへの学習支援を強化すべき。

【教育長】フレンドセンターにICT支援員を定期的に派遣度であり、対象となる要件が定められており、特定の学校をその対象に加えるよう求めることは考えていない。

【質 問】教職員の人的配置と事務削減に最も効果的なのは少人数学級と考えるが、効果と拡充について、見解は。

気候危機に本気で向き合うことを求めて

【質 問】4年度に、区役所から排出されるCO2の削減に率先して取り組むとしているが、74万7千円の予算では、まったく足りていない。CO2の削減効果予想はどうなっているか。

【区 長】電気自動車の導入などを実施し、約400トン超のCO2の排出削減を見込んでいる。

遣し講習を行うことで、既存の環境を活用しながら、学習支援を行えるよう取り組む。

自殺対策の推進を問う

【質 問】国の「いのちを支える自殺対策推進センター」や専門家などと連携した対応を。

【区 長】連携の必要性は認識。専門家は多くないが、機会があれば意見を伺いたい。

【質 問】制度に加え、権利擁護いたばしサポートセンターの存在を周知するため、広報・周知事業を拡充すべき。

【区 長】制度案内だけでなく、センターについても知っていたらという、様々な機会を捉えて広く周知していく。

【質 問】成年後見人として、弁護士などの専門職以外で選任される親族後見人や市民後見人への支援強化を。

教職員人事権の移譲を求めて

【質 問】優秀な教職員を確保するため、都費負担の教職員の人事権を区へ移譲すべき。区の見解と都との交渉状況は。

【教育長】移譲の必要性は認識している。権限移譲が教育水準の維持向上につながるかを検証しつつ、特別区教育長会を通じて、引き続き要望する。

区役所本庁舎の省エネ化を

【質 問】利用頻度が高い場所などについて、計画的に照明のLED化を進めるべき。

【区 長】施設全体の交換は、北館の長寿命化改修時に実施予定。必要に応じて、先行して導入すべき箇所があれば随時検討し、LED化に取り組む。